



2026年8月15日 礼拝メッセージ 菅原亘牧師

みことば: マルコによる福音書1章14~15節

タイトル: 「世界の終末、キリスト再臨預言」

サブタイトル「無条件降伏と悔い改め。盆行事、仏教と救いの大衆化」

猛暑、酷暑の毎日ですが健康と安全が守られますようにお祈りいたします。神戸では若者たち10名と北山牧師夫妻が韓国に出かけています。韓国の教会との交わりがあります。16日に帰国予定です。旅路の無事と目的が祝福されますように！

1945年8月15日は日本が連合軍に無条件降伏した敗戦の日です。天皇陛下の玉音放送が全国に流され国民は戦争が終わったことを知りました。またこの時期はお盆行事とも重なっています。日本に仏教が伝来したのは538年(552年説)と言われています。仏像と仏典と仏僧が百済の聖明王から大和朝廷にやって来ました。そこから仏教が拡大して行きました。大乘仏教と言って「南無阿弥陀仏」と唱えれば救われる単純な教えでもありましたので大衆宗教として国内で受け入れられて行きます。お盆行事も盛んになされることとなりました。お盆行事は国内における最大の仏教行事となっています。

今日は日本の無条件降伏と創造主への悔い改めによる信仰の土台の共通点。仏教の大乘仏教と福音の共通点、お盆行事が中国から始まった信仰であって教祖の釈迦とは無縁のことであることをお語りしたいと思います。

1・無条件降伏は徹底した悔い改めに通じます。

日本が無条件降伏したので戦後復興が急速に起こり成功しました。

徹底した罪の悔い改めが新しいキリストにある人生の土台となります。

キリストの御前に罪を認め悔い改めることが信仰の土台です。

第二コリント人への手紙7章8節～10節。

第一ヨハネの手紙1章9節。

2・大乘仏教と福音の接点。ローマ人への手紙10章9節～13節。

仏教はBC5世紀のころインドで釈迦によって始まりました。

仏教の本質は小乗仏教と言って鍛錬、修練を重んじ読経や善行による教えが中心で誰もが出来ない厳しい修行が求められています。

しかし、1世紀入り大乘仏教が始まります。大乘仏教とは誰でも救われる道が開かれたのです。修行が出来なくても「仏の慈悲にすがれば救われる」のですから、救いの大衆化に繋がって行きました。その大乘仏教が中国に渡り、中国から朝鮮半島に伝わり、朝鮮半島から大和朝廷に伝えられました。

インドで1世紀のころ使徒トマスの宣教によりキリスト教が拡大し「イエスを信じる者は救われる」教えが仏教に影響を与えたと言われています。

お盆のことも中国での仏典「盂蘭盆会教」から始まったものです。